

太田生涯学習報

はばたき

■発行 大仙市教育委員会 太田分室

太田公民館・生涯学習班・スポーツ振興班・給食センター

(題字：鈴木正吾さん・南今泉)

目次

表紙	少年教室
太田分校発・テクテクウォーク	2 ページ
太田町史編さんだより	3 ページ
のびのびニュースファイル	4 ページ
親子読書・新刊案内	5 ページ
情報アラカルト・輝人さん	6 ページ
俳句・短歌紹介	7 ページ
教育随想・太田の子育て	8 ページ

今年の学校の田植えは、地域の人材を活用しながら五月二十四日(火)に北小と東小、五月二十六日(木)には太田中で実施しています。



「どう、すてきでしょ」なつかしいユニフォーム姿で勢揃い



ていねいにアドバイスする大信田公民館長(左)と泉さん(左から二人目)

昔の野良着で挑戦

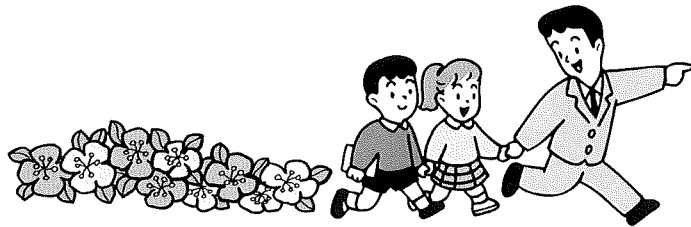
～少年教室で田植えを体験～

太田公民館の「少年教室」の農作業体験活動で5月28日(土)、泉 芳郎(上新興)さんの水田5アールで田植えが行われました。

この教室は実年者や仲間との交流を図りながら農作業の体験するもので、小学生たちは公民館が準備したカスリの野良着を身に付け、菅笠をかぶり、昔の格好で6人が参加しました。

初めは、田んぼに足を入れることにとまどっていましたが、受け入れ農家の泉さんに「苗3～4本をまとめて一か所にしっかりと押し込んで植えるんだよ」と説明を受け、サポート役の老人クラブの方々としだいに作業に熱中。心地よい汗を流して田植えを終えました。

小・中 学校発



のび のび

ニュースファイル

今 学校でこんな取り組みをしています。



太中の春

PTA参観授業から



「自分や集団の理想に迫る生徒の育成」

- (1) 生徒中心の生き生きと躍動する学校
- (2) 明るい挨拶と笑顔があふれる学校
- (3) 本気で挑戦し、みんなで高めあう学校

太田南小学校

入学式
PTA参観授業から

新任式・表彰
PTA参観授業から

運動会
PTA参観授業から

休み時間
PTA参観授業から

「心ゆたかに 生きる 学ぶ」

- (1) 思いやりを持ち、たくましく生きる子ども
- (2) 明るくあいさつし、人とかかわりあう子ども
- (3) 進んで学び、ねばり強く考える子ども
- (4) 思いや考えを豊かに表現できる子ども

太田東小

スタートの春

入学式

交通安全教室

児童会発足の会

「心豊かに学びあい 夢をはぐくむ子ども」

- (1) 基礎・基本の定着、読書活動の充実
- (2) 地域の人材を活用した学習

平成17年度 太田北小学校

地域の皆さんとの連携

本物体験 第1弾
全校児童田植え作業に挑戦!

「ゆめにむかって のびる!」

花と緑にあふれ、しとやかで落ち着いた環境の中、全校児童71名を全職員が担任となって活力と確かな歩みのある教育をめざします。

太田文化プラザ正面玄関ホールに学校紹介のパネルを掲示しています。ご自由にご覧ください。子どもたちの笑顔の写真が皆さんをお待ちしています。(この広報では紙面の関係から部分的な紹介となっております。)



親子読書

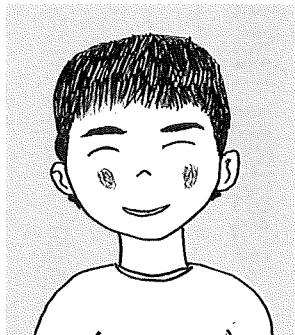
①

この本
だりしすぎ

キャラメルの木を読んで

太田北小学校三年

ふじさわけんた
藤澤 健太



ぼくの顔

あまくて、口の中でとろけてやわらかくなるキャラメルの木が本当にあったらいいです。

たかしくんは、六才で死んでしまったけど、おばあちゃんがついたやさしいうそのおかげで、わらいながら天国に行ったと思います。

キャラメルの木を作ったしんちゃんのようにやさしい人になりたいです。

☆ この本の紹介 ☆

絵本「キャラメルの木」

作家上條さなえさんが三年がかりで完成までこぎつけたという、初めての絵本「キャラメルの木」。出版は講談社。上條さんの母親がいつも前掛けにキャラメルを入れていたことを別の形で表わそうと絵本にしました。

内容は、小学一年生の主人公が、おばあちゃんの家で戦争の話を聞き、病気の弟がキャラメルを食べたがっていたため、庭の木にキャラメルがなるとうそをついて励ましました。

戦争のない世の中になつてほしいという願いをこめています。



・健太さんの読書感想画・



◆ 母 由希子 (ゆきこ)

戦争から六十年続いたおばあちゃん
のせつない気持ち、キャラメルという
甘い可愛らしい響きからは想像できま
せんでした。

大好きなキャラメルを弟に食べさせ
てあげられなかった悲しみに、戦争の無
意味さを嘆きました。

図書館の新刊案内

太田公民館の図書館で新しく購入した本
から話題のものを紹介します。随時、新刊を
購入していますので、お気軽にどうぞ。

図書館の新刊

■ 村の若者たち (復刻版) 宮本常一

■ 「桜と日本人」ノート 安藤 潔

■ 東京タワー 江国香織

■ いま、会いにゆきます 市川拓司

■ 僕の行く道 新堂冬樹

■ 子どもが育つ 魔法の言葉

■ 十代の子どもの育つ魔法の言葉

■ ドロシー・ロー・ノルト

■ うしろにいろのは だあれ(三巻)

■ ふくだ としお

■ セブンス タワー (第7塔) ガース・ニクス

■ 日本人の一年と一生 石井研士

■ 人生に二度読む本 城山三郎ほか

■ ガンに生かされて 飯島夏樹

■ 絆なお強く 地村 保

情報アラカルト

残念！

太田の三チーム

高松宮賜杯全日本軟式学童野球

北仙北ブロック大会

このブロック大会は、一昨年までは太田地区の予選会を経て1チームだけが出場するものでしたが、より広く、多くの子どもたちが交流できるようにと予選会方式をとりやめて、本大会で県大会出場権獲得をめざす

ものとなつていきます。(参加十六チーム)

太田の三つのスポーツ少年団も元気よく出場しましたが、残念ながら破れてしまいました。

No.257

ミニ展示コーナー

太田文化プラザのミニ展示室では水墨画の「打矢恵(うちやしん)」作品展を開催しています。

由利本荘市の打矢さんは東京、神奈川、秋田、中仙などで八教室を主宰している水墨画家。



今回は、大仙市美術愛好会の千葉次郎さん(豊岡)の所蔵の打矢さんの代表作「朝光」「朝のブナ森」「西山」の三点を展示しています。会期は七月十五日まで。

会場は太田球場サブグラウンドと八乙女球場、袖野(西木)球場、角館東小グラウンドでした。

《1回戦》

太田東シャイニングスターズ13-6 神代若鮎スポ少、太田南ファイターズ12-17 角館東ブルーファイターズ、太田北野球クラブ1-9 桧木内ベアーズ

《2回戦》

太田東シャイニングスターズ10-18 中仙ファイターズ

今年もスタート

地域花だん活動

今年も花いっぱい運動がスタート。

家庭花だんはもちろんのこと、太田地区では集落内を花で飾り、来る人を歓迎し、目で楽しんでもらう「地域花だん活動」がさかんです。

この活動は、自分たちの住んでいる郷土をみんなの力を合わせてきれいにする地域づくりの活動で、今年のは二十六もの地域で取組まれる予定です。この時期、定植作業が最盛期を迎えます。



写真は五本塚児童館地域花だん定植作業

舞踊と私



「藤友会」

ふじま ともえ
藤間 知枝
(泥窪)

古典を踊ることは、私にとって日常から離れ打ち込むことによつて、ひととき別の世界に入れるとても心地よい時間です。

わが町の「輝人☆」さん

舞踊中心に動いているような家で育ちましたので、太田町に嫁いだ時は、少々戸惑いました。幸い主人も若い頃からサクソフォンを続けておりましたので、私のことも理解してもらえたように思えます。おかげさまで藤友会として独立し、発表会、芸術祭、慰問等で観て頂く機会も多くなり、太田町が私の活動の中心となつてきました。舞踊を通していろいろな方々と触れ合い、良い人間関係を保つことができ大変ありがたく思います。

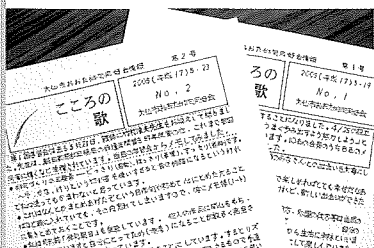
これからも、観てくださる方々の心が和らぐような舞踊ができるよう自分自身を磨きながら、会員と共に楽しく踊り続けたいと思っております。



俳句同好会スタート

現在会員10名。和気あいなりの和やかなムードの中、5月21日(土)に発足。毎月第3土曜日午後1時、会場は太田公民館。

初心者大歓迎です!



「楽しく、そしてなごやかに…」が合言葉。俳句同好会情報紙、「こころの歌」も仲間づくりとして発行。No.3になりました。



「太田花の会」総会の一コマ

つと立ちて一氣に咲いた虞美人草
電線に鳥のぶらんこ日本晴
物置にスキー寝かせて古希まぢか
春の海朝日に染まり美しく
アパートの窓に泳がぬ鯉幟
夜桜や月の朧に耐み交し
花柄の母の病衣や五月晴
観桜会人に桜の追いつかず
不揃ひの集団登校豆の花

講師の一句

浪夫

藤原 成雄
高橋 光
田口 栄徳
大信田江里
高橋 睦子
野中 竜雄
進藤 順子
熊谷 直紀
大信田俊郎



路会
野歌

三月詠草から

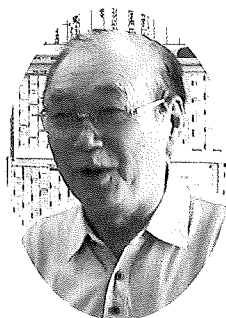
高原の湯槽に漬かり眺めいる
雪の斜面を兎駆けゆく
過ぎし日の村が市となる今日の日を
亡きともがらと祝たかりき
臨終におくれてしまひ一言も
言葉とならず声なく座る
三月になりても降りつぐどか雪の
屋根のなだれに我が家かまくら
四十才で盲人となりし来客の
顔をそりつつ身の上をきく
一人居に豪雪吠ゆる朝夕を
隣家のふたりは雪除けくるる
黒髪を束ねて登校する少女の
美しき笑顔が心ささうる
この町の最後を飾る「学びの集い」
隅の茶室に茶をいただきぬ

浅利 繁雄
伊藤 成隆
大信 リン
加藤 年子
草薨 ミヨ
小松 キヨ
佐々木エツ
湯野澤哲太郎



わが町の「輝人☆」さん

Vol. 7



グラウンド・ゴルフの
すすめ

太田には、素晴らしいグラウンド・ゴルフ場があります。十一月まで四百人以上参加する大会が三回から四回あります。常連の人もいますが初めての人もあります。先輩たちの努力で、太田と言えばグラウンドゴルフ、本当に有名になりました。今どき金をかけ宣伝しても集ってもらうのは大変です。

太田には、美味しいお米や野菜が沢山ありますが、お嫁さん、お婿さん、担って来てくれる人がなかなかいません。グラウンド・ゴルフをやる人は世話好きです。太田の人達も沢山参加して米の話、子供の話などをしてみたらいかがですか?例えば、「イモノコ」にはイカが合うか肉が合うか?今までと少し違った世界が見えると思います。

太田町グラウンド・ゴルフ協会

くまがい なおき
熊谷 直紀 (大町)

“心と心”が大切

言葉で決めつけない！

人間だれしも、時には錯覚に落ちることはある。それに気づいて改めながら生活している。とくに、子どもの教育に関しては、親であれ、教師であれ、早めに気づいて、正しい指導や接し方をしていきたい。今回は錯覚に落ち込んでいる言葉を取り上げてみたい。

①「登校拒否の子はダメな子」

学校へ出て行かないからダメでなく、その子が、自己改革のためにどう動いているか考えてみなくてはならない。

②「成績の低い子は悪い子」

成績だけで子どもを見てはいけない。良い悪いはもっと別のこと。

③「あの子は異常だ」

元気な子を乱暴な子、自主性のある子を反抗児などと間違えやすい。どっちが異常なのか。大人の指導や接し方で変にしている場合もある。

④「前に問題行動をおこしている子だから」

子供は、日々、成長し、変わっている知ってほしい。こんな目でみたら大変なことになる。

④「すべて根性をもってやればできる」

根性論は、スポーツのある指導者のいった言葉である。この言葉は便利だがやたらに使われては困る。たいした考えもなく、すべての子どもにこれで指導している大人がいる。

⑤「この子の困った行動は、わがままと怠けさ」

子どものすべての問題行動を、この面だけで考えることができないのである。人間の心なんて、そんな単純なものでない。

⑥「こんなによく教えても、どうしてわからないのか。ダメな子だ。」

教えることがすべて伝わるといってもない錯覚。伝わる人と伝わらない人（こちらが多い）がいるのに、自分の教えることはすべて伝わるとでも思っているのだろうか。

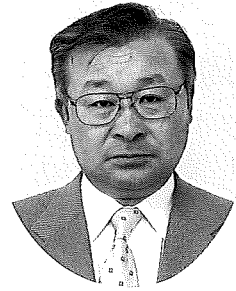
⑦「あの子は、素直で、親や先生のいうことをよく聞き、何でもきちんとしないと気のすまないいい子」

このような子は、すべて良い子であろうか。親や教師がすべてこのような子に育てようとしたら…。このような子だとやりやすいというのだろうか。

⑧「この子をいろいろ検査してくれ」

子どもの理解は、検査と調査を多くやればよくできると思っている親、教師がいる。子どもとの心の結びつきが一番大切であるのだが。

大仙市太田町となつて3か月が過ぎました。例年にならない豪雪のため雪消えが遅れ、農作業への影響に気をもまされましたが、田植えもすつかり終り、新緑から深緑へと美しい季節になってきました。また、開花が遅くなるのではと懸念された桜も、実に美しく見事に咲き誇りました。



教育委員会
太田分室長 藤原 修

教育随想

共に手を携えて

今、大台スキー場リフト終点近くの駐車場からの仙北平野の眺めはすばらしく、まるで緑のジュータンを敷きつめたようです。

大自然のダイナミックな営みは、市町村合併をも飲み込んで今年も着実に始動しています。密やかに爽やかに精一杯咲いている花々、移りかわる自然の姿の「美しさ」に魅せられるのは私だけではないでしょう。

自然の美しさに恵まれた、ここ太田に住む私たち一人ひとりが、共に手を携えて進んで行きたいものです。お互いのよさを見出し、それをさらに伸ばし、活気あふれたまちづくりを努めてまいりましょう。

編集後記

わたしたちの町 太田の教育を充実させるためには、どうしても地域の皆さんのご理解とご協力が必要です。

そのためには、できる限り多くの方々と日々交流、行動し、そして情報を発信していくことが大事です。そこで生涯学習のみならず、教育全般の情報紙を発行することにしました。名前は「はばたき」、大仙市教育委員会太田分室と市民のみなさんとを双方から結び合う「はばたき」です。

学校教育のことも、公民館活動やスポーツ振興のことも、そして町史編さん、給食センターのことも、その時々、タイムリーにお伝えしてまい

ります。発行回数は隔月の予定です。

見やすく、読んでわかり易い内容を心がけながら情報提供に努めます。編集方針は太田分室が担当。よろしく願います。

(草薨 稔)

《編集委員》

藤原 修、大信田英夫、草薨 稔、佐藤 朗、細川良隆



懐かしいホオの木風の車
(大台スキー場で)